

忠臣蔵における刃傷から討ち入り  
までの数々の名場面を、義太夫、  
落語、浪曲で表現するジャンルを  
超えたエンターテインメント!  
日本の古典芸能をじっくりと  
お楽しみください。

# ザ・忠臣蔵ナイト



## 義太夫

＜殿中刃傷の段＞

竹本駒之助  
鶴澤津賀寿

## 落語

＜淀五郎＞

三遊亭圓彌

## 浪曲

＜大石東下り＞

二代  
東家浦太郎

曲師：吉野静

時は元禄十五年、白雪降り敷く師走の十四日。今は七き、殿の  
恨みを晴らさんと、所は本所松坂町、討ち入る浪士は四十七士。

2002年 **12月7日[土]**

開場18:30 開演19:00

コラーレ(カーターホール)

＜全席指定＞ 前売・当日 3,000円

■公演当日に限り高校生以下は空席を1,000円でお買い求め頂きます。  
当日は必ず生徒手帳をご持参ください。

### ■プレイガイド

- 【黒部市】コラーレ .....0765-57-1201
- メルシー .....0765-54-2221
- 【魚津市】新川文化ホール .....0765-23-1123
- 魚津サンプラザ .....0765-24-3030
- 【入善町】コスモホール .....0765-72-1105
- コスモ21 .....0765-74-9100
- 【宇奈月町】宇奈月国際会館 .....0765-62-2000
- 【朝日町】アスカ .....0765-82-2000
- 【滑川市】サン・アビリティーズ .....076-475-3342
- 【富山市】インフォマート(市民プラザ店) .....076-491-0110
- (CIC店) .....076-444-7013
- 【婦中町】アルプラザ富山(ファボーレ内) .....076-466-1828

■5歳未満のお子様のお入場はご遠慮願います。  
■公演中の一時保育(無料)を希望される方は事前にコラーレにご連絡ください。

お問い合わせ・チケットの申込み  
コラーレ/富山県黒部市三日市20  
TEL.0765-57-1201 FAX.0765-57-1207  
info@colare.jp http://www.colare.jp/  
開館時間:9:30~22:30(土曜~23:00)/毎週水曜休館

2002年 **12月6日[金]**

開場18:30 開演19:00

富山県教育文化会館ホール

＜全席自由＞前売 3,000円 当日 3,500円

### ■プレイガイド

- 【富山市】富山県教育文化会館 .....076-441-8635
- 富山県民会館 .....076-432-3111
- インフォマート(市民プラザ店) .....076-491-0110
- (CIC店) .....076-444-7013
- 富山大和 .....076-492-8185
- 【婦中町】アルプラザ富山(ファボーレ内) .....076-466-1828
- 【高岡市】富山県高岡文化ホール .....0766-25-4141
- 【魚津市】新川文化ホール .....0765-23-1123

■5歳未満のお子様のお入場はご遠慮願います。  
■公演中の一時保育(無料)を希望される方は、11月21日(木)までに  
富山県教育文化会館にご連絡ください。  
■駐車台数に制限がありますので、なるべく公共交通機関をご利用ください。

お問い合わせ  
富山県教育文化会館/富山市舟橋北町7-1  
TEL.076-441-8635 FAX.076-441-8184

時は元禄十五年、小雪降り敷く  
 師走の十四日。今は亡き、殿の恨みを  
 晴るさんと、所は本所松坂町、  
 討ち入る浪士は四十七士。

今年は忠臣蔵「300周年」を迎えます。ご存じ、松の廊下の刃傷から吉良邸への討ち入りまで、日本人なら誰でも知っている一大叙事詩の名場面を、日本の伝統“語り芸”義太夫～落語～浪曲でリレー形式に綴る、古典芸能エンターテイメント! 人間国宝・竹本駒之助をはじめ、三遊亭圓彌、東家浦太郎といった名士達が、涙と笑いで織りなす300年前の雪の夜……今宵、しばし現世の喧噪を忘れて、元禄のロマンの世界にタイムスリップしましょう。浅野内匠頭の無念と赤穂四十七士の忠心が時代の背景とともによみがえり、あなたの心を熱くします。

県民芸術文化祭2002協賛事業  
 富山県文化ホールネットワーク公演事業

## 殿中刃傷の段

【でんちゅうにんじょうのだん】

江戸城、松の廊下でのシーンを、現在女流義太夫では最高のコンビ、竹本駒之助の豪快かつ繊細な浄瑠璃と鶴澤津賀寿の華麗な三味線で演じます。

## 淀五郎

【よどころう】

浅野内匠頭の切腹シーンを、落語で演じます。六代目三遊亭圓生直伝の「淀五郎」を、門下の三遊亭圓彌が熟演じます。

## 大石東下り

【おおいしあずまくだり】

忠臣蔵の最後を飾る討ち入りシーンを、浪曲の極め付けの演目「大石東下り」で華々しく締めくくります。二代東家浦太郎のさわやかな関東節が場内を魅了、浪曲のエンターテイメントとしての側面をお楽しみください。

### 出演者プロフィール

義太夫



竹本駒之助(人間国宝)

人形浄瑠璃の盛んな淡路島に生まれ、幼少から義太夫に親しんだ。大阪にて竹本春駒に入門、「竹本駒之助」を名乗る。以降、十世豊竹若大夫、八世竹本綱大夫等に師事。1970年、四世竹本越路大夫の門人となる。1996年より「駒之助の会」を発足。紀尾井ホールにて公演。1996年、モービル音楽賞受賞。1999年に人間国宝に認定される。女流義太夫の第一人者として活躍。後進の育成にも力を注いでいる。

義太夫



鶴澤津賀寿

1984年、竹本駒之助に入門。同年三味線を四世野澤錦糸に師事。本牧亭にて初舞台。後、故鶴澤重輝の預かり弟子となる。1996年、芸術選奨文部大臣新人賞(古典芸術部門)受賞。義太夫三味線のホープとして活躍中。

落語



三遊亭圓彌

新宿四谷生まれ。1958年七代目春風亭柳枝に入門。師匠急逝の後、1960年、六代目三遊亭圓生に入門。1972年、真打昇進。「三遊亭圓彌」となる。日本舞踊や各種邦楽も修める実力派。その確かな芸とネタの多さには定評がある。毎夏行われてきた「住吉踊り」では、昨年他界した古今亭志ん朝らとともに常連であった。1975年より5年間NHK「お好み演芸会 囃家横町」に出演。キャッチフレーズは“幻の囃家”。

浪曲



二代 東家浦太郎

千葉県出身。1955年、東家楽浦に入門。1970年、太田英夫となり、1995年、「二代東家浦太郎」を襲名。初代の十八番「野狐三次」をはじめ、俠客物や世話物、時代物から新作まで、幅広いネタを持つ。声よし節よしの浪曲界のニューリーダーである。最近も小椋佳氏の「紀伊国屋文左衛門物語歌綴り『ぶんざ』」に出演するなど、幅広い活躍を見せている。また数多くのCDをリリースしている。現在、日本浪曲協会会長。

義太夫

落語

浪曲

ザ・忠臣蔵ナイト